

9回ハラハラドキドキ佐々木併殺締め

横浜スタジアム

38年ぶり投手兼本塁打王の権藤光司



日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

インターネット号外

10月27日
火曜日
1998年
(平成10年)
AM 1:00

シリーズのMVPには横浜鈴木尚典外野手が選ばれた。敢闘選手には西武大塚光二内野手、優秀選手には斎藤隆投手、石井琢朗内野手、駒田徳広内野手が決まった。

横浜が38年ぶりの日本一を地元横浜の大観衆の前で決めた。川村、西口の両先発がともに、ピンチを迎えながらも点を与えない。気迫のピッチングを披露。試合は8回に動いた。横浜が相手のミスなどで迎えた2死一、二塁で、駒田が右中間フェンス直撃の貴重な二塁打で2点を勝ち越した。9回から登板した佐々木は、守備のミスなどで1点を失い、1死一、二塁のピンチを迎えたが、代打金村を二塁ゴロ併殺に打ち取った。



鈴木尚MVP

四死球	1	1	0	0	0	0	0	1	3
安打	0	1	1	2	0	1	0	1	7
西武	0	0	0	0	0	0	0	1	1
26日・横浜	4	勝	2	敗					
横浜	0	0	0	0	0	2	X	2	
四死球	0	1	0	2	1	0	0	3	7
安打	0	1	0	0	0	0	1	1	3

【西】西口(2敗)-中島
【横】川村、阿波野(1勝)、佐々木(1S)-谷繁

駒田千金二塁打 おめでとうベイスターズ

